

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	鶴ヶ峰もえぎ本部 (単位1 : 本部)		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 2日		~ 2024年 10月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日		~ 2024年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	中学年から高学年が多く在籍していることもあり、幅広い学年での交流が行える。	高学年だからこそ考えられる企画や、低学年だからこそ考えられる意見等、視点の違いを見える化出来るように行っている。	相手の意見も最後まで聞き、お互いの意見を混ぜ合わせた意見を作ることが出来るよう支援を行っていく。
2	共通の趣味を持つご利用者様が多く集まっている。	電車や車等、乗り物に興味を持つ方が多く、外出先を乗り物を中心に行っている。	興味のある外出先を企画する等、企画力を身につけてもらえるよう支援を行っていく。
3	職員の中で得意・不得意が明確化している。	日頃の会話の中で職員の趣味を聞いたり、活動プログラムの発案時に「出来る」等の意見をもらう。	調理・工作・運動等様々な活動を得意な職員が中心に回すことが出来るよう配慮を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎月新しい活動を取り入れすぎてしまい、備品が増えてしまう。	レクリエーションを増やした。	リメイクして同じものを使うことが出来るようレクリエーションを再検討する。 また、欠席等で備品が残った際は以前行っていた「セレクト作業週間」を実施し、選択が出来る幅を増やすとともに、再度取り組みたいというご利用者様に対して実施出来るよう配慮を行う。
2	活発に動くご利用者様に対して十分な運動時間を取ることができない。	学年が上がり、下校時間が遅くなった。 下校時間後の活動時間が1時間ほどになっており、日々の活動で終わってしまう。	長期休みに上下階の活動に配慮しながら活発に動く機会を増やすことが出来るよう計画する。 長期休み前の早い下校時間に活発に動くことが出来るよう活動を取り入れる。
3	保護者様との交流の機会が年間を通して少ない。	日々の業務に追われてしまっている。	・こども忘年会や収穫祭以外での、保護者様といっしょに活動いただける活動を取り入れていく。 ・専門職員が配置されたこともあり、少しずつ家族支援等を行っていく。